



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5. Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：私たちは変えられる
アジア太平洋会長主題：アクション
東日本区理事主題：為せば、成る
あずさ部長主題：未来はそれに備える人のものである
甲府クラブ会長主題：肩を組んで、歩み行くワイズ

Moon Sang Bong (韓国)
田中 博之 (東京多摩みなみ)
宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
廣瀬 健 (甲府21)
ピーター・マウントフォード

甲府ワイズメンズクラブ
2018 10月会報
●今月の強調目標
(EMC/E・YES)

■今月のことば■

「安きに居りて危うきを思う、思えば則ち備えあり、備えあれば憂い無し」

出典 『書経』 荒川 洋一 会員選

今月の例会案内

秋の野外例会

日時：2018年10月27日(土) 11:00～
場所：サドヤワイナリー (甲府駅北口)
昼食：saiya (サイヤ)
山梨県甲府市北口2丁目4-17
担当：C委員会
参加費：500円



プログラム

- ・開会点鐘 P・マウントフォード 会長
- ・ワイズソング・ワイズソングの信条 一同
- ・挨拶/ゲスト紹介 P・マウントフォード 会長
- ・今月のことば/食前の感謝
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・諸報告
- ・YMCAの歌
- ・閉会点鐘 P・マウントフォード 会長

9月のデータ

会員数	36名	ゲスト:1名
内広義会員	1名	(村松正美=卓話者)
例会出席会員	24名	キャンディデート:1名
出席者合計	26名	(宮本秀憲)
出席率	69%	

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

会長 P・マウントフォード



9月には季節が変わる。水田の黄金色、きのこ、彼岸花は9月の象徴でしょう。そして、皆様は十五夜の月光に見月団子を食べたでしょう。

私は9月末に富士山例会に参加する予定でしたが、台風24号の影響で例会が延期となりました。皆様は台風の影響がいかがでしたか。

さて、10月になりました。そして、後わずか1カ月で山梨YMCAバザーが開催されます。

甲府ワイズのカレンダーでYMCAバザーは主要なイベントです。そして、びっくり市が当クラブの担当です。

近年は、びっくり市の献品、特に食品の少なさが課題になりました。理由はいくつかありそうですが、今年も、献品の集めに皆の協力をお願いしたいです。

さらに10月の野外例会は27日(土)に開催予定で、例会とバザーの間にはわずか1週間しかありません。だから、バザーの準備と支度などにメール連絡を使います。皆様のご協力とご理解をお願いします。

9 月例会報告



渡辺 徳之

9 月例会は 11 日（火）に定例会場の談露館で開催されました。

今回はゲスト卓話を計画し、当クラブの支援の下に実現した甲府駅北口広場にある藤村記念館周辺の「バラ花壇」について卓話をお願いしました。

この北口周辺の管理と運営は「北口まちづくり委員会」が行っているため、まず最初に、この委員会の責任者でもあり、当クラブ会員の内藤宥一氏から「甲府駅周辺拠点形成事業」等についてお話を頂きました。



この中で内藤氏から、県都甲府市の玄関口にふさわしい利便性・安全性の高い交通環境に改善するとともに、市民をはじめ観光客やビジネスで訪れる様々な人々の交流拠点として賑わいのある街づくりを目指して事業を進めており、この中で北口の「バラ」植栽は大いに貢献している点を話されました。

この後、実際に「バラ」植栽とその管理を担っている「ラロの会」村松正美会長から、バラ植栽の経緯とその後の維持管理等について話されました。

当クラブの 60 周年記念事業として、23 種類 58 株植栽された北口のバラは、現在、約 100 種類 380 株となり、ボランティアとしての「ラロの会」会員は約 70 名が 4 班体制で水やり、消毒等の管理をし年間数回は、専門家である後藤みどり先生を招いて現地研修会も開催している、とのことでした。

その後、諸報告の後、ピーター会長の閉会の点鐘で例会が終了しました。

9 月役員会報告

- ▼ 日時：2018 年 9 月 25 日（火）
午後 6 時 30 分～7 時 40 分
- ▼ 場所：山梨 YMCA
- ▼ 出席者：マウントフォード・渡辺・仙洞田・丸茂・秋山

【報告事項】

- ・9 月 1 日（火）9 月例会
会員出席 24 名（出席率 69%）、ゲスト：1 名（村松正美＝卓話者）、キャンディデイト：1 名（宮本秀憲） 出席者合計 26 名。
いつもより出席率が良かった。会長からキャンディデイトへ礼状と次回例会案内を送る。
- ・9 月 7 日（金）山梨 YMCA バザー実行委員会
出席者：マウントウォード・大澤・廣瀬
今後の対応：10 月例会が野外でしかも 27 日なので、会員へ早めの周知をする。チラシが出来たので、メールで配布、次回実行委員会（10/5）には、なるべく大勢の会員の出席を奨励する。

【協議事項】

- ・西日本豪雨災害募金の件
9 月例会での募金にクラブ会計から加え、東日本区へ送金する。
- ・10 月 27 日（土）10 月野外例会の件
担当委員会・丸茂副委員長より説明あり。
- ・11 月例会の件
担当 A 委員会・廣瀬委員長が欠席だが、中島会員によるインフルエンザ予防をテーマにした卓話を予定している。
- ・12 月クリスマス例会（12 月 11 日（火））の件
担当：C 委員会・例年の決算状況を確認し、音楽等のプログラムを企画する。
- ・70 周年記念事業実行委員会の件
今年中に実行委員長を選出し、実行委員会の骨格を決めたい。
- ・「若手会員懇談会」の件
出席した丸茂会員を中心に懇談、今後例会等の機会を利用して、懇談の場を多く設けて行くことにする。（書記：仙洞田 安宏）





甲府ワイズ会員投稿



「茶道から学ぶ」

秋山 仁博

今年度の最初のブリテンの言葉を、スタートの意味も含めて、「一から学び、十を知り、十から帰る、その一」。これは常に初心に帰る事を大切にするという意味の茶道の教えです。

私の母が「裏千家淡交会」の茶道を習っていた関係で、いろいろな角度から、若い時より茶道に興味を持ちました。一番最初に興味を持ったのは、仕事柄お茶室の建築の狭い空間において、いかに客をもてなす間取りが考えられているか。また、客との「一期一会」の感動の為に準備する、季節に合った掛け軸や野花の飾り、それを生ける花入れ等の置物、もちろん最初は、何も解らずにただ難しい説明とだけ感じていましたが、徐々に解って来ると、茶碗・釜・棗・茶杓等の各種茶道具の準備が招いてくれた、亭主の心配りが解る様になりました。

興味を持つという事は、不思議なもので、茶席で出されるお菓子や懐石料理も、何が出されるか楽しみになり、露地から入って、待合での一服、躡り口からの席入りの待ち時間さえ楽しく思える様になりました。

茶道は、日本文化の総合芸術だと言われますが、まさに戦国時代から現代に至るまで、人物と言われる数多くの偉人が触れたお茶の世界は、奥深くピュアな生活の一部であると思います。

会員の皆様にも、お茶の世界の入り口にどれか一つ興味を持って頂いて、人生を豊かにして頂きたいと思います。まさにその気持ちが「日常茶飯事」の意味する所だと思えます。

最後に、いま私が仕事の上で一番心掛けている、茶道で使われている言葉は、「守・破・離」と言う言葉です。

守るとは、伝統や歴史を大切にすること。

破るとは、過去の習慣のみに囚われて新しい事に挑戦しないこと。

離れるとは、自分の行動や考えを、もう一歩上から冷静に見直すこと。

きっと有意義な充実した人生が有ると信じています。

こうふ開府 500 年 100 日前市民パレードに参加

渡辺 徳之

甲府市は、永正 16 年 (1519 年) に当時甲斐の国 (現・山梨) を治めていた武田信虎公が居を構えていた、川田 (石和隣接地) の地から、躑躅ヶ崎の地 (現・武田神社) へ館を移し、来年 (2019 年) 甲府市は開府 500 年を迎えます。

この為、甲府市では 9 月 23 日 (日) に「こうふ開府 500 年記念事業」として、カウントダウンイベント 100 日前「市民みんなのパレード」が開催されました。

このイベントに、65 団体・約 3,000 名が参加し、私達のグループ「甲斐手づくり甲冑の会」も参加をいたしました。

この会は、戦国武将の心意気を今に伝える甲冑を半年から 1 年程掛けて手づくりで作成した「甲冑」を自身が着用し、2 名の小学生を含め 15 名の会員で参加しました。

パレードは、県庁前から平和通りを南下して相生の広澤寺西までの約 1,2 km でしたが、当日は天候にも恵まれ、信玄公祭りの「甲州軍団出陣パレード」を遥かに上回る観客が平和通りを埋め尽くし盛況の裡に「市民みんなのパレード」が行われました。

永い歴史と郷土の誇りを改めて感じるこの記念イベントに今回参加する事が出来、大変良い思い出となりました。



甲府駅北口まちづくり委員会だより バラとボランティア

甲府駅北口まちづくり委員会副会長

内藤 有一

藤村記念館記念館の周辺に、イングリッシュローズが手入れの行き届いた姿で咲き乱れ、訪れる人の心を和ませています。このバラは、甲府ワイズメンズクラブから甲府市に寄贈されたものです。利益を追求しない「まちづくり」を目的とした甲府駅北口まちづくり委員会であり、地域の人とのつながりがあるから、協力が得られております。

株式会社や近隣にない法人等では、このようなことは出来ないと思います。バラの花は手入れを的確にしないとたちまち姿に現れる花であります。70人の「ラロの会」の会員が地域を思う気持ちと愛情によって出来る事であります。

早朝で交代制で水やり、施肥、剪定などの手入れ等を行っていただけるのは、当法人でなければできないことでもあります。甲州夢小路とも連携をとりながら、一体のバラ園化のために、積極的な活動を行っていきます。

さらには、清掃活動、雑草抜きなどは、甲府工業高校、英和中学・高校、北東中学校の生徒、ガールスカウトなど多様な人たちの奉仕によるところ大であります。また、「お正月を遊ぼう」と題した1月の行事には、寒い中、市民有志希望者、ロータリークラブ、ワイズメンズクラブなどのボランティアが相当数参加して頂いています。その他、まちづくり委員会の会員や地域有志による「安全パトロール隊」を編成し、指導巡回をサポートする体制を整えたいと考えています

これからの行事予定

10月23日（火）10月役員会 山梨YMCA

10月27日（土）10月例会（野外例会）

11月3日（土）YMCAバザー

10月 Happy Birthday

メン 丹後佳代(2日) 露木淳司(2日) 中澤文雄(6日)
大澤英二(14日) 鶴田一郎(14日) 済本文雄(27日)

メネット 丸茂宣恩(6日) 小倉香苗(11日) 石原靖子(17日)
石川てる子(和)(17日)

10月 Wedding Anniversary

標 克明 ♡ 恭子(2日) 廣瀬静男 ♡ 昌子(2日)
荒川洋一 ♡ 宏枝(3日) 丹後佳代 ♡ 内田和俊(10日)
鶴田一郎 ♡ 美恵子(14日) 北条繁寿 ♡ 順子(19日)

山梨YMCAだより

総主事 露木 淳司

チャリティーバザー 献品大募集中!



山梨YMCAで行われる最大のイベント「YMCAバザー」。今年も11月3日が迫ってまいりました。

山梨YMCA四十年史「荒野に水わきいで」によりますと、第一回目は1961年（昭和36年）で、「レクリエーションホールの改築資金の一部とするために」ということを目的に開かれたようです。当時の食券には、しるこ、おでん、カレーまたはいなりの3点セットで140円と記されています。バザーという形態のイベントとしては山梨県では最初の試みではなかったかと言われています。以来全く途切れることなく継続され、今年で58回目を迎えます。

2020年に山梨YMCAは新会館を建設しようとしていますので、現会館での開催はあと一回を残すのみとなりました。そして記念すべき新会館第一回目はちょうど60回目の還暦を迎えることとなります。

YMCAバザーは文字通りFor Allのイベントです。ワイズメンズクラブの皆様の他にボーイスカウト甲府5団の皆様、賛助会員の皆様、全てのプログラム会員の皆様、さらにはロータリークラブをはじめとするYMCAにゆかりのあるグループ、団体の皆様に支えられて今日まで開催され続けてまいりました。

特に最近では、6月のチャリティーランと並び、発達障がい児支援のためのチャリティーイベントとしての色合いが濃くなってきており、急成長してきた「放課後等児童デイサービスなどの運営に大きく寄与するところとなっております。

すっかり活気のなくなってしまった連雀問屋街に笑い声の絶えないひと時をもたらしてくれるバザー。

掘り出し物に出会えたり、思いがけない再会を果たしたり、年に一回だからこそそのハプニングがあなたを待っています。皆様、ぜひ今年もバザーに参加して、新たな思い出のページを加えてください。ただいま、献品大募集中です。ご家庭で眠っている遊休品をぜひお寄せください。